

Hawaii Wedding Story

一生に一度の大切なハワイ物語

憧れのハワイ挙式を『ファーストウェディング』で実現させたふたりの、実話エピソードをお届けします。

第6回はこだわりの詰まった挙式を実現させた、河村さんの物語です。

Text: eri Photo:CHARLES

Vol.6

「一目惚れの場所」

結婚式からおおよそ1年前、真つ赤なバラの花束とともに、プロポーズしてくれた彼。遠距離恋愛をしていた私たちは、毎月のデート＝旅行だった。いろいろな場所に出かけるたびにこの人とずっと一緒にいたいと思つた。だからプロポーズされたときには、「はい」と素直に答えた。

*

結婚が決まってからは、こだわりが強く欲張りな私の性格が発揮され、海外ウェディングのプロデュース会社をいくつか回り、希望を話した。プランの通りに決まったことしかできない会社が多いなかで、フレキシブルに対応し私の願いを一緒に形に

ドレス選びに没頭する私に付き合ってくれた彼には本当に感謝している。そして、挙式用には『セントアンドリュース大聖堂』のヴァージンロードに映えるように、トレーンの長いドレスを選んだ。パーティーとフォトツアー用には、カジュアルな雰囲気のものか動きやすいようにとエンパイアタイプのドレスをオーダーした。出来上がったドレスを着た時の感動は忘れられない。

な写真が撮れるかわからないのは不安と戸惑う私に彼が「サンプル例がないって、かえって楽しそうだよね!」と笑って言うてくれた。その一言に後押しされ、マウイ島でのフォトツアーを申し込むことに。ネイバーアイランドでのフォトツアーは8時間や6時間など時間が決まっているだけで、あとは自由に内容を決めてよいという点も、いろいろと欲張りしたい私にはピッタリだった。

置かれたロマンチックな場所。シャワーツリーが咲き誇り、瑞々しい緑の庭に囲まれた邸宅は、とっても素敵で物語に出てきそうな場所なのに、作り込まれた感じはなくてナチュラル。撮影をしながら、「日本だったらこんな場所はないよね。ここにしておきたね」と彼と話した。結果として、撮影できた写真はすべての背景も光も美しく、ほかの人のアルバムでは見えないようなものばかりで、ふたりとも大満足。

『ハイクミル』での撮影後は、大自然の中で写真を撮りたいとリクエストし、ドライパーさんが連れて行ってくれたマックグレゴール・ポイントでも撮影。荒野の中にドレスとタキシードの二人がいる写真なんてオリジナリティがあるし、特に、崖のそばで撮った写真はドレスの裾が風になびいていてお気に入りの一枚だ。

*

挙式の予約とともに始まった、ドレスやブーケ、またフォトツアーについて考える日々はとても幸せだった。気になるものがあるたびに担当のSさんと相談。ウェディング雑誌などを読んでいると夢が膨らんで、「一生に一度だから!」と思うとやりたいたことは増える一方だった。こだわったことの一つはドレス。挙式用とパーティー用2着用意したかったため、イメージを膨らませてドレスショップを10軒もまわった。

もう一つのこだわりはマウイ島でのフォトツアー。ほかの人が撮らないような場所でウェディングフォトを撮りたいと希望していた私たちが、オアフ島の北部やハワイ島の大自然の中などで候補がいくつかあったのだが、マウイ島の『ハイクミル』という邸宅を偶然知り、一目惚れ。さっそくSさんを訪ねたのだが、今まで撮影したカップルがいないため、サンプルの写真はないという。どん

そうして迎えた挙式&パーティー当日。家族と友達に囲まれて、最高に幸せな時間。街ゆく人もドレスアップした私たちを見ると、クラクションを鳴らして祝福してくれる。そんな街の人の温かさもハワイ挙式の一部なんだなと思った。

マウイ島での撮影中、偶然路上で売っていた絵を気に入って、記念にと買って帰ることにした。帰国後、その絵は彼の部屋に飾った。今は新居を探していて、これから数年は海外も含め、いろいろなところに住んでみたいねと話しているところだ。思い出の絵は、新居や今後の引っ越し先にも持っていくつもり。そしてその絵を見るたびに、ハワイ挙式のことを思い出すだろうな。いつばいこだわって、幸せにあふれた最高の2日間。私が欲張り迷う度に、「めぐるの好きなようにしていいんだよ」といつも微笑んでくれた彼のそばで、ずっと仲良く過ごしていきたいな。

